

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第18号

平成27年(2015年)
7月1日 発行



夏到来「二色の浜海水浴場」

西岡常一つねかず、「最後の宮大工」と呼ばれた人である。彼は、世界最古の木造建築である法隆寺の専属宮大工の家に生まれ、自身も棟梁として「昭和の大修理」を手がけた。

お堂を解体するために瓦を外すと、重みで沈んでいた支柱が数センチのびた。柱をカンナで削ると、新木同様の檜の香りが漂ってきたという。「千年の木には千年のいのちがある」、常一氏の遺した言葉である。

彼は、補強の目的で鉄やコンクリートを使うことに断固反対した。やがてサビやひび割れが生じ、そこから建物全体が駄目になるのだという。人間の知恵の産物に頼らず、木のいのちを活かしてきたからこそ、法隆寺は千数百年前の姿を今に伝えているのである。

釈尊から二千五百年、宗祖から八百年、時代を超えて、仏法・念仏のみ教えは脈々と受け継がれてきた。本当の依りどころとなるものとは何なのか。常一氏の言葉が今を生きる私たちに問いかけてくる。

(門川崇志)

と う ひ がん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

霊松寺 わきさか よしひと 脇阪義仁

する以外に他の道はありません」と自ら自身はいただいています。

念仏の他に道なし

いくつもの選択肢があり、その中から自分にとって都合のいいものを選ぶのではなく「私が生きる道はこれしかないのだ」と強い決意にも似たご領解りょうげを感じとることができるとのことです。

親鸞聖人は九歳で京都の青蓮院で得度を受けられました。そして天台宗の根本道場である比叡山において学問と修業に励まれます。しかしながら学問や修業に励んでも迷いを離れるどころか、ますます煩惱に身も心も振り回されるわが身を知らされます。聖人は二十年後の二十九歳で比叡山を下りられました。

そののち六角堂で、戒律を守れない煩惱にまみれた者でも浄土へ生まれる道があるのだという救世観音菩薩の夢

告を受け、法然上人のもとへ通われ、阿弥陀仏の本願についてに出遇われるのです。その喜びを『教行信証』『化身土巻』の中で「雑行を棄てて本願に帰す」と記しておられます。

そのような道の中りの中で法然上人をはじめ、七高僧のお陰で本願念仏の教えがわが身へ伝えられたことを感銘深く、正信偈でお述べになりました。聖人の歩みはまさに「念仏を依りどころとする以外に救われる道はない」という絶対他力の道であったのです。

私事ですが、昨年九月に娘を授かりました。親鸞聖人の大切なよびかけをいただき娘の名前を「唯可」と名付けました。

(平成27年3月24日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)

本日は正信偈の最後の一句「唯可ゆいかしん信しん斯高僧しこうそうせつ説」をいただきましたと思います。

このお言葉は「唯この高僧の方々の説かれた教えを信ずべし」といわれます。この中で注目したいのは「唯可」、「ただくすべし」というところです。

現代では「くすべし」と聞くと「くしなさい」「くするべき」など命令や義務の意味を思い浮かべます。

しかし正信偈の「唯可」の場合は「く



如にょ是ぜ我が聞もん

このたびさをひらくべし

滋賀南教区・正嚴寺 福嶋崇雄ふくしま そうゆう師



たといわれています。

桜ヶ池では法然上人がお檀に詰めた赤飯をお供えしたといわれから、納櫃祭が約八百三十年継承されています。

毎年秋の彼岸の中日に行われているこの神事は、静岡県の無形民俗文化財にも指定されています。

「このたび」の救い

弥勒菩薩は五十六億七千万年という長い歳月を経て仏になられますが、私たちはお念仏申して、信心をたまわると同時に往生定まる身となるのです。「時をうつさない。ただ今」ということを「このたびさをひらくべし」のお言葉に聞かせていただきまし

(佐々木太一 記)

れました。

龍神伝説

平成27年2月19日、福嶋崇雄先生を講師に迎え、さつき会研修会が大阪別院で行われました。

平安末期、嘉応元(一一六九)

したが、法然上人はこのことを聞かれて「わが師なれど愚かなことよ」といわれたということです。

先生は「五十六億七千万、弥勒菩薩はとしをへん、まことの信心うるひとは、このたびさをひらくべし(正像末和讃)」をお引きになり、静岡県御前崎市の桜ヶ池の龍神伝説に触れられながら、まことの信心を得た人は弥勒菩薩のように長い歳月を要することなく、ただいまに往生定まる身となれるというお話をさ

年、比叡山の名僧・皇円阿闍梨が末法の到来に悩む人々を救済するには、五十六億七千万後の弥勒菩薩の出現を待つ以外に方法はないとし、身を龍と化し、桜ヶ池に入水され、瞑想しながら弥勒菩薩の出現を待ち、その法に遇って悟りを得ようとしたのです。

後に法然上人がこの桜ヶ池を訪ね池のほとりに立たれたところ、にわかには波立ち龍が現れました。法然上人は「五十六億七千万年待たずとも、本願念仏によって信心をいただけば、この世において浄土に生まれることが定まった身になれる」とお伝えになりましたが、龍は「もう遅い」と涙を流し、池の底に姿を隠し

大阪探検

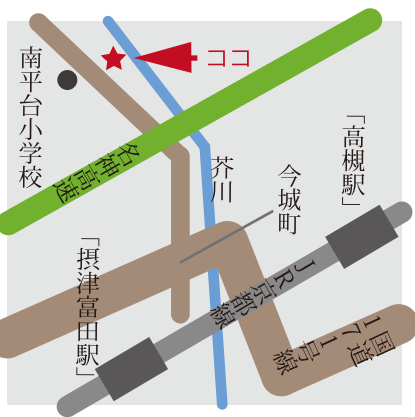
あくたがわ 高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川



あくあびあ芥川の正面入口



ミニ水族館(中央)と大型水槽(右)



高槻市南平台5丁目59番1号
tel 072-692-5041

【バス】JR高槻駅北⑤番乗場
「関西大学」「平安女学院大学東」行き(約15分)「南平台小学校前」下車すぐ
【車】国道171号「今城町」交差点を北へ名神高速をすぎて約700m

JR高槻駅から歩いて30分ほどの芥川沿いは、のどかな田園風景が楽しめ、上流へ進むと摂津峡の大自然も感じられる人気のハイキングコースです。その途中にある「あくあびあ芥川」は平成六年に開設されました。

「あくあびあ芥川」は高槻市内に生息する淡水魚・鳥類・哺乳類・昆虫・植物などをわかりやすく展示する博物館です。2階から1階にかけてはミニ水族館があり、大型水槽は順路に沿って上流・中流・下流の環境を再現し、川辺の様子が見られる仕組みになっています。また、3階には生物について学習ができる視聴覚室と図書コーナーがあります。

私たちの周りにはすでにたくさん外来生物

物が生息しており、日本在来の動植物に絶滅の被害を及ぼす可能性があるといわれています。平成十八年から「あくあびあ芥川」のスタッフが中心となり市民と協力して、ミズヒマワリなどの特定外来生物が本来の河川に住む動植物の環境を著しく変えてしまわないように駆除するなど、芥川の環境のパトロールを行っています。施設の周りには芥川緑地公園では、川遊びしながら生物の観察もできます。また公園内には無料バーベキュー場があり、休日は多くの家族連れで賑わいます。

開館時間は午前10時から午後5時まで。特別展以外は無料。休館日は月曜日(祝休日の場合は翌日)と年末年始(12月28日～1月4日)です。

(葦名 彰)

全国の

ごえんさんを訪ねて

ふくしょうじ 福性寺 (滋賀) いぶき 臆吹 ざとる 覚 住職



第十五代住職を継職されて四年、今春四月には宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を厳修されました。

福性寺の歴史

福性寺はその山号に伊吹山をい
ただき、同山の西南麓に位置しま
す。古くは天台宗でしたが、近世
初期の慶長十年に真宗佛光寺派に
改宗されました。現存する阿弥陀
如来絵像一幅は、このときに下付
されたものと伝わっています。今



4月に厳修された大遠忌法要



本堂内陣

の本堂は江戸末期に再建されたも
ので、平成十九年に大修復工事が
行われ、堂内の二十四孝の欄間も
見事によみがえりました。

信曉上人の研究

ご住職は毎日二時間かけて福井
大学に勤務されています。専門は
図書を研究対象とする書誌学で、
現在は京都の佛光寺派大行寺の開
基、信曉上人の著書に関する書誌
学的研究にも力を入れておられま

す。

また以前、大阪の専門学校で、
留学生に日本語を教えていた経験
を活かし、二百名を越える留学生
に「日本文化」の講義を行うユニ
ークな研究者です。しかし最も興
味があるのは近世の、妖怪・幽霊・
怪談話だそうです。

今回の大遠忌は、先代住職とご
門徒さんに頼りつきりだったと反
省の弁も。今後は、自ら聴聞の場
に身をおき、いただいた真宗のみ
教えを、ご門徒のみなさんにわか
りやすく伝えることを通して、住
職として成長していきたいと決意
を聞かせていただきました。

(長田 譲)

■福性寺(ふくしょうじ)

〒521-0224

滋賀県米原市夫馬548

電話 0749-55-1109

Fax 0749-55-1109

大悲トピックス

■佛青懇和会研修旅行開催

6月9～10日、佛青懇和会主催の聖跡参拝研修会(北海道・函館方面)が開催されました。初日は佛光寺派佛晃寺(藤井晃住職)に続いて、東本願寺ならびに西本願寺の別院を参詣しました。

ハプニングもありましたが、初日夜から二日目にかけては、朝市や函館山展望台など北海道を満喫していました。



上 藤井住職(前列中央)を囲んでの記念撮影
下 函館山展望台からの眺め

■聞法推進員・大阪別院参詣

6月9日、藤田徹文師を講師とする本山の第六次・第七次聞法推進員合同布教大会が報恩寺(堺市東区・寺田宗隆住職)で開催されました。

そして翌10日には推進員一行が大阪別院を参詣し、別院の歴史や大遠忌に関する中井賢隆輪番の話に、熱心に耳を傾けていました。



上 写真を使って別院の歴史を説明する中井輪番
下 輪番の話に耳を傾ける推進員一行

■懇志御礼

滋賀県長浜市 光円寺様

■お悔やみ 謹んで哀悼の意を表します

第二組・西圓寺住職

佐々木國男 行年90歳(3月16日寂)

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075)371-0367(代)
FAX (075)371-5088

御本山佛光寺御用達

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤルTEL 0120-075-720 番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490 番

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ **携帯PHSOK**

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

(株)小林造園

代表取締役: 小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングスグループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 ㊦-0131

燦ホールディングスグループ

なごみ庵

きたはま

KITAHAMA

法要料理 ■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜破店 ☎06-6769-0140
■伊丹店 ☎072-773-7531

希望の場所までお届けします。

※2012年5月現在 ㊦-0132

だいひ 絵日記

- 4月21日(火) 大悲の会『大悲』編集会議(第18号読み合わせ)
 4月25日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽研修会)
 5月12日(火) 大悲の会『大悲』編集会議(第18号読み合わせ)(妙圓寺にて)
 5月21日(木) さつき会総会 ①
 6月8日(月) さつき会研修会(親鸞聖人のお手紙に聞く・講師:日下貴行 師)
 6月9日(火) 佛青懇和会聖跡参拝研修(函館方面)(~10日)
 6月12日(金) 法友会総会 ②
 6月12日(金) 大阪教区総会
 6月26日(金) 大悲の会『大悲』編集会議(第18号発送作業・第19号内容検討)
 6月27日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽研修会)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



 株式会社 **モントラベル**
 〒550-0013
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
 TEL. 06-6531-1344
 FAX. 06-6531-1346
<http://www.monto.co.jp>
 仏跡参拝ならお任せください!


浜屋は関西最大級の
 お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
 専門店です。

やすらぎの
 世界を創る  **浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル
 お問い合わせ
 お申し込みは **0120-1616-94**
 ●受付時間/午前10時~午後6時30分

ご寺院、お役に立てる商品が、
 きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。

 株式
 会社 **寺の友社**

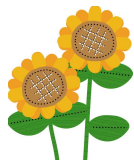
〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
 TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
<http://www.teratomo.jp>
 ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

和奏の会 翠笛会
 寺院のイベントに邦楽(尺八・
 箏)出張演奏いたします。
 曲目はリクエストできます。
 事務局:阪南市新町 宝林寺
 電話 072-472-1414
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

表具 **八木米寿堂**
 御本尊掛軸修理 絵画、書の表装
 〒600-8073
 京都市下京区柳馬場通仏光寺上る
 tel 075-351-2853 fax 075-352-3258



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院孟蘭盆会

8月13日(木) 午後2時
8月14日(金) 午後2時
8月15日(土) 午後2時

大阪別院彼岸会

9月20日(日) 午後2時
法話：布教使未定
9月23日(水・祝) 午後2時
法話：布教使未定
9月26日(土) 午後2時
法話：布教使未定

本山佛光寺茶所布教

毎日午前7時半
※大阪教区布教使の担当は下記の通りです
7月上旬 隅谷俊紀 師(高照寺)
7月下旬 門川崇志 師(浄方寺)

大阪教区寺院で開催される法話会

◎常光寺(大阪市淀川区・06-6391-5319)
7月10日(金)～13日(月)
「紫陽聞信会」 午前9時半、午後1時
10日 法話：西田眞因 師
11日 法話：釈 徹宗 師
12日 法話：新井俊一 師(午前)
法話：藤谷信道 師(午後)
13日 法話：安富信哉 師
◎浄方寺(大阪市北区・06-6371-9040)
9月23日(水・祝) 午後2時
「聞法会」法話：中西昌弘 師
◎正念寺(大阪市東住吉区・06-6714-3109)
7月12日(日) 午後3時
「聞法会」法話：物部修道 師
◎高照寺(堺市北区・072-252-2122)
7月26日(日) 午後3時
「聞法の集い」法話：宏林晃信 師
※詳細は各寺院にお問い合わせください

編集秘話

編集会議で色々な意見をいただき、毎回へこむことが多いです。時には自分が言いたかったこととは少しずれてきているのでは？と思うこともあったりします。しかし、そこで本当に言いたかったことに気づかされ、より深いものになっていきます。そこに聞法の場があるのだと感じます。(寿栄松)

編集後記

毎月の編集会議では様々な意見を出し合い、よりよい誌面作りを目指しています。今回より「法要・法話会のご案内」(上記)を新設しました。記載の法要・法話会はどなた様でもお参りいただけます。皆さまの「聞法の場」にさせていただければ幸いです。★法座を開催されている大阪教区のご寺院は、お知らせください。(隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』第18号(夏号)
平成27年(2015年)7月1日発行(発行部数2100部)
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
長田 譲(会長) 佐々木太一
隅谷俊紀(副会長) 葦名 彰
寿栄松正顕(会計)
玉出宗順(会計)
門川崇志(監事)